

教 育 の

玉名市教育振興基本計画
を着実に推進します

ま ち づ く り

玉名市教育委員会では、玉名市教育振興基本計画を着実に推進し、将来を担う子どもたちの知力・学力・体力を高めるとともに地域力を高め市民生活を豊かにするため、生涯学習、文化振興に努める必要があります。その中で23年度の主な取り組みをここに紹介します。本市の教育推進にあたり市民の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

「生きる力」を育む教育を充実します

☆**新学習指導要領が小学校は平成23年度から、
中学校は平成24年度から全面実施になります。**

子どもたちに「生きる力」を育むという理念のもと、教育内容の改善により、学力の重要な3つの要素「基礎的な知識・技能」「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」「学習に取り組む意欲」を育成するとともに、子どもたちの諸能力の向上を図ります。また、教育内容の改善にともない、授業時数も週当たりの授業コマ数が1時間（小1・2は2時間）増加します。



▲伊倉小学校研究発表会

【教育内容改善の主なポイント】

- 言語の力の育成
- 外国語教育の充実
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 理数の力の育成
- 伝統や文化に関する教育の充実
- 体験活動の充実
- 社会の進展に対応した教育の充実

それらに備え、玉名市教育委員会では、指定研究推進校を指定し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育研究による教育実践を行っています。

本年度は、八嘉小、伊倉小、大野小、玉南中の4校の研究指定校が研究実践と成果を発表しました。どの学校の子どもたちも落ち着いた態度で意欲的に学習に取り組み、学力をはじめ諸能力を伸ばしている姿をうかがえました。

☆学校図書館を充実します

玉名市では小中学校に図書室補助員を配置し、図書館教育のソフト面の充実を図っています。これに対して、蔵書数は、すべての学校が満足しているとまではっていない状況でした。

このようななか、国の地域活性化交付金を活用し、すべての小中学校の図書館の電算化を図るとともに通常の図書購入費を大幅に増



▲バーコードシステム導入前の貸し出しの様子



▲河野洋子スリアワンさん

額しました。このことで、平成22年度の図書購入費が例年の約2倍となり、各学校もかなりの蔵書数増となると考えています。

一方、玉名市石貫出身でインドネシア在住の実業家、河野洋子スリアワンさんから図書寄贈（総額1千万円相当）の申し出がありました。来年度から2か年にわたり全小中学校に図書が寄贈されていきます。

親が子を育てる喜び、子が成長する喜びを感じられる社会づくりを進めます

玉名市は、毎年10月3日を玉名市「なかよしの日」に制定しました。

家族・ともだち・学校・となり近所・地域全体の「5つの“なかよし”」を広め、互いが繋がり、ふれあいながら絆を深めていけるような催しを計画します。どうか市民の皆様も、いいアイデアがありましたら、生涯学習課へお知らせください。



▲ばってん城次さんと伊倉仁○加

市民一人一人の自主性と創造力を備えた人材育成を図ります

芸術文化都市をめざし、「玉名市民文化祭」の充実と玉名市文化協会の円滑な運営及び会員個々の芸術性向上にむけて積極的な支援をしていきます。

「第4回玉名市民音楽祭」は、プロの演奏家をゲストに質の高い音楽鑑賞の場を市民に提供しました。これからも、幅広い音楽活動を展開して「音楽の都 たまな」づくりを推進します。



▲玉名市民文化祭



▲玉名市音楽祭